

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2021年8月29日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

「命がけで通院」 公立・公的病院の再編統合やめて！
腎友会と懇談 「いのちまもる緊急行動@北海道」

8月23日、道労連、道医労連、道民医連、道社保協などをつくる「いのちまもる緊急行動@北海道」は、北海道腎臓病患者連絡協議会（道腎協）と懇談。鈴木友幸事務局長から、新型コロナ感染や道内の深刻な医療提供体制による患者の実態や不安、地域医療構想を具体化する公立・公的病院に統廃合による影響などについて聞きました。



新型コロナ感染で死亡率が高い透析患者

「北海道は昨日（8月22日）までで76人の仲間がコロナ感染でなくなっています。人工透析患者が新型コロナに感染した場合の死亡率がとても高いです」と感染の心配とともに、急いでコロナ対策を強化する必要性を訴えます。また、「命がけで通院している」と話します。人工透析を利用している人は治療を中断することは命に直結します。道内で人工透析をしている方は1万7千人です。同会は、北海道や札幌市に、新型コロナウイルス感染防止について要望しています。

道内21病院が再編統合検討の対象 1000人に影響？

国の公立・公的病院の再編統合方針について、は「人工透析をしている病院がなくなると患者さんにとって大変です。私たちは命がかかっています。死ぬというのか」と話します。

国が再編統合の検討を求めた道内の公立・公的病院は公表させているのは54病院です。そのうち、外来維持透析を実施している病院は21で、人工腎臓台数は323台。患者数は調整していませんが、1000人程度の患者数になるそうです。中には、離島の医療機関など、その地域で人工透析を行っている唯一の医療機関も

医療圏ごとの人工透析施設・再編統合対象病院等 ()内は保健所

二次医療圏 (保健所)	透析実施している 再編・統合施設	圏内透析 施設数	再編統合人工腎 /圏内人工腎
南渡島(渡島)	(2)	19(4)	24/459(116)
後志(岩内)	(1)	14(2)	11/291(26)
南空知	3	5	65/213
中空知	1	5	21/155
西胆振	1	10	25/328
日高	1	3	22/87
上川中部(旭川)	(1)	19(17)	21/492(472)
宗谷	1	4	4/56
北網(網走)	(2)	11(4)	30/262(89)
遠紋	1	5	6/80
十勝	5	23	71/388
釧路	2	13	23/232
合計	21	131	323/3,043

#医療・介護・保健所を本気で充実させる全国一斉蜂起

—0905 いのちまもる札幌アクション—

9月5日(日) 11:30~12:00 札幌大通西3丁目



(8/24 パラリンピック開会日 大通)

どこでも、必要な医療が、お金の心配なく受けられるように

「遠くにある病院に通うことは大変です」と、地方の実態を話してくれました。

道東の羅臼町でやっと人工透析ができるようになったそうです。それまでは、羅臼町から中標津町まで2時間かけて通っていた人もいました。冬は吹雪いて道路閉鎖になると中標津町の旅館に泊まって帰らなければなりません。翌日も吹雪いて帰られないこともあったそうです。

どこでも人工透析が受けられるように、医療機関の統廃合ではなく、医療提供体制の拡充が求められます。医療費負担も大変です。国には、患者負担の値上げしないように行政に働きかけてきたそうです。